

環境調査結果のお知らせ

平成31年5月30日15時半から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は22.1~23.1℃で、前回調査時(H31.4.24)と比較して全層で2.6~3.2℃上昇しました。塩分は11.2~32.4で、前回調査時と比較して全層で0.3~14.8下降しました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は3.8~12.9mg/lで、前回調査時と比較して表層から1m層で1.0~4.0mg/l増加し、2m層からB-1で1.9~3.5mg/l減少しました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は1.6mでした。
 検鏡の結果、魚類に有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で4,800cells/ml確認されました。
 今後も、降雨や河川水の流入増により、増殖、拡大する可能性があります。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H31.4.24)	
			差(今回-前回)
0m	23.1	20.5	2.6
1m	22.9	20.0	2.9
2m	22.3	19.3	3.0
B-1	22.1	18.9	3.2

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H31.4.24)	
			差(今回-前回)
0m	11.2	26.0	▲ 14.8
1m	26.3	30.1	▲ 3.8
2m	31.4	31.9	▲ 0.5
B-1	32.4	32.7	▲ 0.3

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H31.4.24)	
			差(今回-前回)
0m	12.9	8.9	4.0
1m	10.2	9.2	1.0
2m	5.9	7.8	▲ 1.9
B-1	3.8	7.3	▲ 3.5

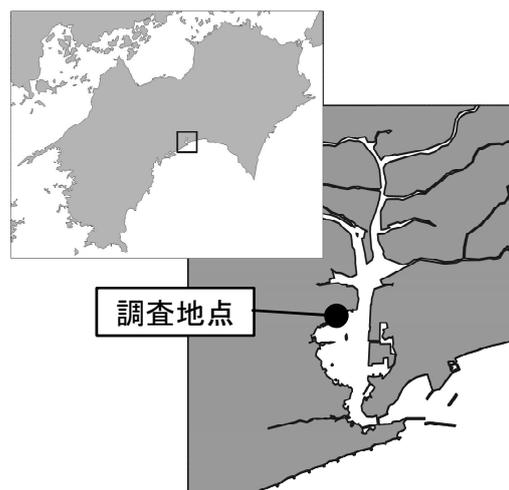


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.5	4.0
透明度	1.6	2.5

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	アカシオ・サンガイネア	ジャイロディニウム属	珪藻類	漁業被害が想定される細胞密度
0	4,800	0	0	23,000	・ヘテロシグマ・アカシオ: 10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)
1	2,400	0	0	7,800	
2	500	0	0	1,100	

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>